

熊本大学：病児保育で育児支援

～NPO法人への委託によるモデル事業スタート～

熊本大学では、平成18年度に申請した「地域連携によるキャリアパス環境整備事業」が文部科学省の「女性研究者支援モデル事業」に採択され、同年度から女性研究者のための環境整備、意識改革、キャリアパス環境整備等を進めております。

今回、その一環として、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の観点から、「本学」と「NPO法人チャイルドケアサポートみるく」との連携により、本学のこばと保育園(学内保育園)に通っている園児及びその保護者を対象として、県内の大学としては、初めての試みとして、病児保育モデル事業(以下「モデル事業」という。)を9月1日から開始した。

モデル事業は、園児が発熱等で通園できない場合に、その保護者に代わってNPO法人による専門家に看護してもらうことにより、保護者が休暇を取ることなく勤務を継続できるようサポートすることを目的としている。

熊本大学は、今回のモデル事業を成功させて、本格実施に繋がりたいとしている。



契約書交換

会場(こばと保育園)

主催者 熊本大学 森光昭理事

受託者 NPO法人チャイルドケアサ
ポートみるく 杉野茂人理事長